

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-123791

(P2012-123791A)

(43) 公開日 平成24年6月28日 (2012.6.28)

(51) Int.Cl.

F I

テーマコード (参考)

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

G 0 6 F 1/00 3 1 2 A

H 0 5 K 7/18 (2006.01)

H 0 5 K 7/18 L

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2011-246316 (P2011-246316)
 (22) 出願日 平成23年11月10日 (2011.11.10)
 (31) 優先権主張番号 201010578856.9
 (32) 優先日 平成22年12月8日 (2010.12.8)
 (33) 優先権主張国 中国 (CN)

(71) 出願人 503023069
 鴻富錦精密工業 (深▲セン▼) 有限公司
 中華人民共和國広東省深▲セン▼市寶安区
 龍華鎮油松第十工業区東環二路2号
 (71) 出願人 500080546
 鴻海精密工業股▲ふん▼有限公司
 台湾新北市土城區中山路66號
 (74) 代理人 100108453
 弁理士 村山 靖彦
 (74) 代理人 100064908
 弁理士 志賀 正武
 (74) 代理人 100089037
 弁理士 渡邊 隆
 (74) 代理人 100110364
 弁理士 実広 信哉

最終頁に続く

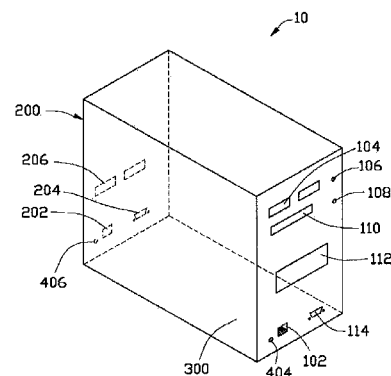
(54) 【発明の名称】 コンピューターキャビネット

(57) 【要約】

【課題】本発明は、便利に操作することができるコンピューターキャビネットを提供することを目的とする。

【解決手段】本発明のコンピューターキャビネットは、フロントパネル、リアパネル、前記フロントパネル及び前記リアパネルを接続するボディーを備え、前記フロントパネルには、少なくとも1つの第一ネットワークケーブルインターフェースが設けられる。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

フロントパネル、リアパネル、前記フロントパネル及び前記リアパネルを接続するボデーを備えてなるコンピューターキャビネットであって、

前記フロントパネルには、少なくとも 1 つの第一ネットワークケーブルインターフェースが設けられることを特徴とするコンピューターキャビネット。

【請求項 2】

前記リアパネルには、少なくとも 1 つの第二ネットワークケーブルインターフェースが設けられることを特徴とする請求項 1 に記載のコンピューターキャビネット。

【請求項 3】

前記コンピューターキャビネットは、制御装置をさらに備え、

前記制御装置は、コントローラー、前記コントローラーに接続される第一 LED ランプ及び第二 LED ランプを備え、

前記コントローラーは、前記コンピューターキャビネットの内部に設けられ、且つ前記第一ネットワークケーブルインターフェース及び前記第二ネットワークケーブルインターフェースに接続され、

前記第一 LED ランプは、前記フロントパネルに設けられ且つ前記第一ネットワークケーブルインターフェースに近接しており、前記第二 LED ランプは、前記リアパネルに設けられ且つ前記第二ネットワークケーブルインターフェースに近接しており、

前記コントローラーは、前記第一ネットワークケーブルインターフェース又は前記第二ネットワークケーブルインターフェースにネットワークケーブルが接続されたか否かを検出するために用いられ、

前記第一ネットワークケーブルインターフェース又は前記第二ネットワークケーブルインターフェースにネットワークケーブルが接続されると、前記コントローラーは前記第一 LED ランプ又は前記第二 LED ランプを制御して第一状態を表示させ、前記第一ネットワークケーブルインターフェース又は前記第二ネットワークケーブルインターフェースにネットワークケーブルが接続されないと、前記コントローラーは前記第一 LED ランプ又は前記第二 LED ランプを制御して第二状態を表示させることを特徴とする請求項 2 に記載のコンピューターキャビネット。

【請求項 4】

前記第一ネットワークケーブルインターフェース又は前記第二ネットワークケーブルインターフェースにネットワークケーブルが接続されると、前記コントローラーは前記第一 LED ランプ又は前記第二 LED ランプを制御して点灯させ、前記第一ネットワークケーブルインターフェース又は前記第二ネットワークケーブルインターフェースにネットワークケーブルが接続されないと、前記コントローラーは前記第一 LED ランプ又は前記第二 LED ランプを制御して消灯させることを特徴とする請求項 3 に記載のコンピューターキャビネット。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、コンピューターキャビネットに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

コンピューターキャビネットは、ユーザーに対面するフロントパネル及びユーザーに背面するリアパネルを備える。ネットワークケーブルインターフェース、VGA インターフェース及び USB インターフェースなどは、一般的にリアパネルに設けられる。

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0003】**

しかし、コンピューターをテストするか又は修理する場合、コンピューターキャビネッ

10

20

30

40

50

トを移動させるか又はユーザーがコンピューターキャビネットの後方に行って、これらのインターフェースに対して操作することが必要とされるので、操作が不便である。

【 0 0 0 4 】

本発明の目的は、前記課題を解決し、便利に操作することができるコンピューターキャビネットを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 5 】

本発明に係るコンピューターキャビネットは、フロントパネル、リアパネル、前記フロントパネル及び前記リアパネルを接続するボディーを備え、前記フロントパネルには、少なくとも1つの第一ネットワークケーブルインターフェースが設けられる。

10

【発明の効果】

【 0 0 0 6 】

従来の技術に比べて、ユーザーが本発明のコンピューターキャビネットのネットワークケーブルインターフェースに接続されたネットワークケーブルを抜き出す際、前記コンピューターキャビネットを移動させるか又は自分が前記コンピューターキャビネットの後方に行くことが必要とされない。特に、前記コンピューターキャビネットを狭い空間に設置する場合、その便利さはさらに十分に表される。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 7 】

【図 1】本発明の実施形態に係るコンピューターキャビネットの構造を示す図である。

20

【図 2】図 1 に示すコンピューターキャビネット内の制御装置のブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 0 8 】

以下、図面を参照して、本発明の実施形態について説明する。

【 0 0 0 9 】

図 1 を参照すると、本発明の実施形態に係るコンピューターキャビネット 1 0 は、ユーザーに対面するフロントパネル 1 0 0 と、ユーザーに背面するリアパネル 2 0 0 と、前記フロントパネル 1 0 0 及び前記リアパネル 2 0 0 を接続するボディー 3 0 0 と、を備える。

【 0 0 1 0 】

30

前記フロントパネル 1 0 0 の上部には、複数の第一 U S B インターフェース 1 0 4 、オーディオインターフェース 1 0 6 、マイクインターフェース 1 0 8 及びカードリーダーインターフェース 1 1 0 が設けられ、前記フロントパネル 1 0 0 の中部には、光学ドライブ挿入口 1 1 2 が設けられ、前記フロントパネル 1 0 0 の下部には、第一ネットワークケーブルインターフェース 1 0 2 及び第一 V G A インターフェース 1 1 4 が設けられる。前記第一ネットワークケーブルインターフェース 1 0 2 、複数の前記第一 U S B インターフェース 1 0 4 、前記オーディオインターフェース 1 0 6 、前記マイクインターフェース 1 0 8 及び前記第一 V G A インターフェース 1 1 4 は、全て前記コンピューターキャビネット 1 0 の内部のマザーボード（図示せず）に接続される。

【 0 0 1 1 】

40

前記リアパネル 2 0 0 には、第二ネットワークケーブルインターフェース 2 0 2 、第二 V G A インターフェース 2 0 4 及び複数の第二 U S B インターフェース 2 0 6 が設けられる。前記第二ネットワークケーブルインターフェース 2 0 2 、前記第二 V G A インターフェース 2 0 4 及び複数の前記第二 U S B インターフェース 2 0 6 は、全て前記コンピューターキャビネット 1 0 の内部のマザーボード（図示せず）に接続される。

【 0 0 1 2 】

ユーザーが前記コンピューターキャビネット 1 0 の各々のインターフェースに接続された接続ケーブルを抜き出す際、前記コンピューターキャビネット 1 0 を移動させるか又は自分が前記コンピューターキャビネット 1 0 の後方に行くことが必要とされない。特に、前記コンピューターキャビネット 1 0 を狭い空間に設置する場合、その便利さはさらに十

50

分に表される。

【 0 0 1 3 】

図 2 を参照すると、前記コンピューターキャビネット 1 0 は、制御装置 4 0 0 をさらに備える。前記制御装置 4 0 0 は、コントローラー 4 0 2、前記コントローラー 4 0 2 に接続される第一 L E D ランプ 4 0 4 及び第二 L E D ランプ 4 0 6 を備える。前記コントローラー 4 0 2 は、前記コンピューターキャビネット 1 0 の内部に設けられ、且つ前記第一ネットワークケーブルインターフェース 1 0 2 及び前記第二ネットワークケーブルインターフェース 2 0 2 に接続される。前記第一 L E D ランプ 4 0 4 は、前記フロントパネル 1 0 0 に設けられ、且つ前記第一ネットワークケーブルインターフェース 1 0 2 に近接している。前記第二 L E D ランプ 4 0 6 は、前記リアパネル 2 0 0 に設けられ、且つ前記第二ネットワークケーブルインターフェース 2 0 2 に近接している。前記コントローラー 4 0 2 は、前記第一ネットワークケーブルインターフェース 1 0 2 及び前記第二ネットワークケーブルインターフェース 2 0 2 の一方にネットワークケーブルが接続されたか否かを検出するために用いられる。前記第一ネットワークケーブルインターフェース 1 0 2 又は前記第二ネットワークケーブルインターフェース 2 0 2 にネットワークケーブルが接続されると、前記コントローラー 4 0 2 は前記第一 L E D ランプ 4 0 4 又は前記第二 L E D ランプ 4 0 6 を制御して点灯させて、前記コンピューターキャビネット 1 0 にネットワークケーブルが接続されていることを表示する。前記第一ネットワークケーブルインターフェース 1 0 2 又は前記第二ネットワークケーブルインターフェース 2 0 2 にネットワークケーブルが接続されないと、前記コントローラー 4 0 2 は前記第一 L E D ランプ 4 0 4 又は前記第二 L E D ランプ 4 0 6 を制御して消灯させて、前記コンピューターキャビネット 1 0 にネットワークケーブルが接続されていないことを表示する。

10

20

【 0 0 1 4 】

以上、本発明を実施例に基づいて具体的に説明したが、本発明は、上述の実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において、種々の変更が可能であることは勿論であって、本発明の技術的範囲は、以下の特許請求の範囲から決まる。

【 符号の説明 】

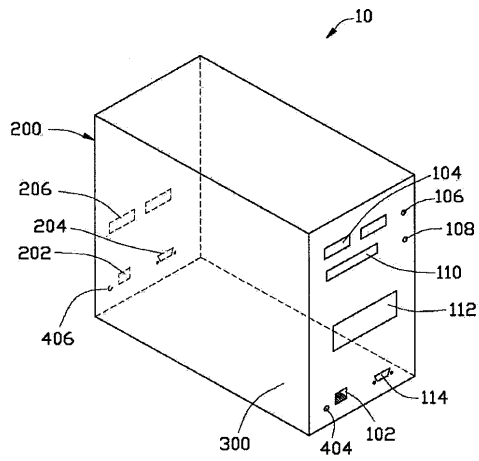
【 0 0 1 5 】

- 1 0 コンピューターキャビネット
- 1 0 0 フロントパネル
- 1 0 2 第一ネットワークケーブルインターフェース
- 1 0 4 第一 U S B インターフェース
- 1 0 6 オーディオインターフェース
- 1 0 8 マイクインターフェース
- 1 1 0 カードリーダーインターフェース
- 1 1 2 光学ドライブ挿入口
- 1 1 4 第一 V G A インターフェース
- 2 0 0 リアパネル
- 2 0 2 第二ネットワークケーブルインターフェース
- 2 0 4 第二 V G A インターフェース
- 2 0 6 第二 U S B インターフェース
- 3 0 0 ボディー
- 4 0 0 制御装置
- 4 0 2 コントローラー
- 4 0 4 第一 L E D ランプ
- 4 0 6 第二 L E D ランプ

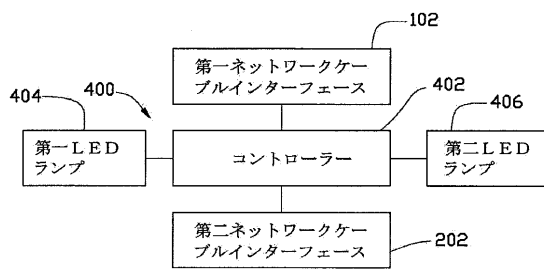
30

40

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

(72)発明者 黄 種棋

台湾新北市土城区中山路66号

(72)発明者 邱 循純

中華人民共和国広東省深セン市寶安区龍華鎮油松第十工業区東環二路2号